

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年3月11日(2010.3.11)

【公表番号】特表2009-526027(P2009-526027A)

【公表日】平成21年7月16日(2009.7.16)

【年通号数】公開・登録公報2009-028

【出願番号】特願2008-553815(P2008-553815)

【国際特許分類】

C 0 7 K 5/06 (2006.01)

C 0 7 C 237/22 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/16 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 K 5/06

C 0 7 C 237/22 C S P

A 6 1 K 37/02 Z N A

A 6 1 P 25/16

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月22日(2010.1.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

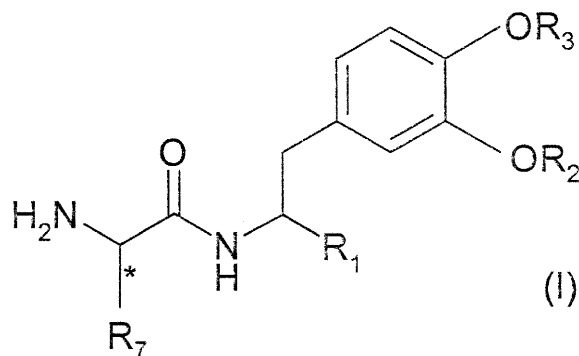
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(I)：

【化1】



[式中、

R<sub>1</sub>はカルボキシ、カルボキシエステルまたはカルボキサミド基であり；

R<sub>2</sub>およびR<sub>3</sub>は、独立して水素または基 -C(=O)R<sub>6</sub> もしくは -C(=O)OR<sub>6</sub> (ここで、R<sub>6</sub>はC<sub>1</sub> - C<sub>6</sub>

アルキルまたは基 - CH<sub>2</sub>Q (ここで、Qは3 ~ 6環原子の任意に置換されている単環式の炭素環式または複素環式環である) であり；

R<sub>7</sub>は、(i)任意に置換されているフェニルもしくは単環性のヘテロアールであるか、または(ii)式 - CHR<sub>4</sub>R<sub>5</sub>の基であり；

R<sub>4</sub>は、

(a) 任意に置換されているC<sub>1</sub> - C<sub>4</sub>アルキル、C<sub>1</sub> - C<sub>4</sub>アルコキシ、C<sub>2</sub> - C<sub>4</sub>アルケニル、C<sub>2</sub> - C<sub>4</sub>アルケニルオキシもしくはC<sub>2</sub> - C<sub>4</sub>アルキニルであるか、または

(b) - CH<sub>2</sub>XCH<sub>3</sub>、- CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>XCH<sub>3</sub>もしくは- CH<sub>2</sub>XCH<sub>2</sub>CH<sub>3</sub>(ここで、Xは、- O -、- S - または- NR<sub>7</sub>(ここで、R<sub>7</sub>は水素、メチルまたはエチルである)であるか；または- CH<sub>2</sub>Q もしくは- CH<sub>2</sub>OQ(ここで、QはR<sub>6</sub>に関連して定義したとおりである)；そして

R<sub>5</sub>は水素、メチル、エチルまたは1、2もしくは3個のフッ素原子で置換されたメチルであるか；または

R<sub>4</sub>およびR<sub>5</sub>は、それらが結合している炭素原子と一緒に、任意に第二の、任意に置換された炭素環式または複素環式環に縮合した3 ~ 8環原子の任意に置換されている炭素環式環または複素環式環を形成する；

但し、「\*」で示した結合の立体化学的配置はSであり、基R<sub>7</sub>は天然アミノ酸の側鎖ではない]

の化合物またはその塩、水和物もしくは溶媒和物。

【請求項2】

R<sub>1</sub>が、カルボキシ基である請求項1に記載の化合物。

【請求項3】

R<sub>1</sub>が、式 - COOR<sup>C</sup>(ここで、R<sup>C</sup>はC<sub>1</sub> - C<sub>6</sub>アルキルまたはC<sub>2</sub> - C<sub>6</sub>アルケニル基である)のカルボキシエステル基である請求項1に記載の化合物。

【請求項4】

R<sup>C</sup>が、メチルである請求項3に記載の化合物。

【請求項5】

R<sub>1</sub>が、- CONH<sub>2</sub>である請求項1に記載の化合物。

【請求項6】

R<sub>2</sub>およびR<sub>3</sub>が、それぞれ水素である請求項1 ~ 5のいずれか一つに記載の化合物。

【請求項7】

R<sub>2</sub>およびR<sub>3</sub>は、独立して- C(=O)R<sub>6</sub>または- C(=O)OR<sub>6</sub>(ここで、R<sub>6</sub>はメチル、エチル、n - もしくはイソプロピル、tert - ブチルメチルまたはフェニル環が任意に置換されているベンジルである)である、請求項1 ~ 4のいずれか一つに記載の化合物。

【請求項8】

R<sub>7</sub>が、式 - CHR<sub>4</sub>R<sub>5</sub>の基であり、かつR<sub>4</sub>が、任意に置換されているエチル、n - もしくはイソ - プロピル、n -、イソ - もしくはtert - ブチル、フェニル、ナフチル、ベンジル、シクロプロピル、シクロブチル、シクロペンチル、シクロヘキシル、シクロプロピルメチル、シクロブチルメチル、シクロペンチルメチル、シクロヘキシルメチル、ピリジル、ピリジルメチル、ピペリジニル、ピペラジニルまたはモルホリニルである請求項1 ~ 7のいずれか一つに記載の化合物。

【請求項9】

R<sub>7</sub>が、式 - CHR<sub>4</sub>R<sub>5</sub>の基であり、かつR<sub>5</sub>が水素である請求項1 ~ 8のいずれか一つに記載の化合物。

【請求項10】

R<sub>7</sub>が、式 - CHR<sub>4</sub>R<sub>5</sub>の基であり、かつR<sub>4</sub>およびR<sub>5</sub>が、それらが結合している炭素原子と一緒に任意に置換されているシクロプロピル、シクロブチル、シクロペンチル、シクロヘキシルまたはピペリジニル環を形成している請求項1 ~ 7のいずれか一つに記載の化合物。

【請求項11】

R<sub>7</sub>が、任意に置換されているフェニル、ピリジル、チエニル、フリルまたはピロリルで

ある請求項 1 ~ 7 のいずれか一つに記載の化合物。

【請求項 1 2】

任意の置換基のいずれかが、メチル、トリフロロメチル、メトキシ、トリフロロメトキシ、シクロプロピル、ハロゲン、シアノ、ヒドロキシ、メルカプト、オキソ、 $-NH_2$ 、 $-NHR^A$ または $-NR^AR^B$  (ここで、 $R^A$ および $R^B$ は、独立してメチルまたはエチルである)から選択されている請求項 1 ~ 1 1 のいずれか一つに記載の化合物。

【請求項 1 3】

請求項 1 ~ 1 2 のいずれか一つに記載の化合物を医薬的に許容な担持体と一緒に含む医薬組成物。